

国際研究集会派遣研究者募集要領

財団法人 吉田科学技術財団

科学技術に関する海外における国際研究集会に出席する者に対し、選考委員会において選考の上、航空運賃を助成します。

(1) 対象分野

化学部門。ただし、化学分野を広範囲に捉えます。(例：物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、生化学、材料化学など)

(2) 応募の資格

次の各項の資格を具備する者としします。

- ①大学卒業者または、これと同等の学力を有する者。
- ②当該集会に関係する分野における研究に原則として4年以上従事している者。
- ③大学院学生である場合は、博士課程後期課程2年以上に在学中の者。
- ④当該集会において、討議・発表を行い、あるいは聴講するに十分な語学力を有する者。

(3) 助成額

航空運賃については、実情を勘案して決定します。

(4) 報告の義務

帰国後、出張報告書の提出を求めます。

(5) 選考の基準

- ①国際研究集会は、国際的に権威ある機関または団体が主催するもの。
(ただし、年次総会的な会議で実質的な研究発表や討議を行わないものは除外します。)
- ②当該集会において発表を行う者、あるいは座長等に指名されている者。
- ③若手の研究者に重点をおき、原則35歳未満までとする。

(6) 応募の方法

所定の申請書に必要事項記入の上提出して下さい。その際所属の国公立大学、国公立研究機関等の責任者の推薦と出張承諾書の確認を得た上、国際研究集会との往復文書等(コピーで可)を添付の上、正1部、副(副はコピーで可)2部、計3部を提出して下さい。

(申請用紙は、下記の提出先にご連絡下さればお送りします。)

(7) 選考の方法

当財団の選考委員会で選考の上、決定します。

(8) 募集の締切日

申請書は、締切日必着にて提出して下さい。

No	締切日	対象集会開始日	選考結果の通知
第1回	4月30日	9月30日まで	6月上旬
第2回	7月31日	12月31日まで	9月上旬
第3回	10月31日	3月31日まで	12月上旬
第4回	1月31日	6月30日まで	3月上旬

(9) 申請書の提出先

〒102-0076 東京都千代田区五番町5-6 ビラカーサ五番町404

財団法人 吉田科学技術財団 TEL 03(3263)4916 FAX 03(3263)5098

*個人情報の取り扱いについて

申請に係わる個人情報の取り扱いにつきましては、審査の為選考委員に開示するほかは、公表致しません。なお採択決定分につきましては、財団年報で氏名及び所属を公表致します。

以上

整理番号

受付番号

国際研究集会派遣研究者申請書

平成 年 月 日

財団法人 吉田科学技術財団
理事長 吉田 昌二 殿

申請者氏名 _____ 印 (男、 女)

(ローマ字) _____ (国籍 _____)

生年月日 年 月 日 (才)

所属機関部局名・職名 (学部・学科などなるべく詳しく記入して下さい)	
所属機関所在地 (電話、ファックスには市外局番を入れて下さい)	〒 _____ 電話 _____ ファックス _____
自宅住所 (電話、ファックスには市外局番を入れて下さい)	〒 _____ 電話 _____ ファックス _____
最終学校名・卒業年月	
学位名・授与大学名・取得年月	
現在の研究分野 (なるべく具体的に)	
取得資格 (例、TOEIC)	

下記国際研究集会に出席のため、貴財団の国際研究集会派遣研究者に採用されたいので申請します。

1. 研究集会名	
2. 開催地	国 _____ 市 _____
3. 開催期間	自 年 月 日 至 年 月 日

4. 主催機関・団体名	
5. 責任者名	
6. 研究集会の目的・規模・性格について。	
7. 発表論文の題名・内容説明(400字以内)、採択通知の有無。(主な往復文書の写しを添付して下さい)	
8. 研究集会に出席の必要性。(該当項目を○で囲み、必要性を具体的に説明して下さい) 1. 招待(特別)講演。 2. 参加要請。 3. 座長等。 4. 一般参加[A. 講演、 B. ポスター] 5. その他	
9. 発表論文が連名の場合、連名者の参加状況	

10. 研究集会に関する研究歴について。(主な発表論文、受賞等についても記入して下さい。 代表的な原著論文1篇の別刷り1部を添付して下さい。)			
11. 研究集会前後の計画			
12. 出張の期間	日間	自 年 月 日 至 年 月 日	
13. 最近3年間の渡航歴(出張先・目的・期間等)について。			
14. 本研究に関連して国際共同研究(留学を含む)の経験があれば記入して下さい。 (先方の名称、研究場所、時期、期間等)			
15. 研究集会出席について の他機関への申請状況			
16. 当財団への過去5年間 の申請状況			
17. 相手側からの経費援助 の有無		有(金額) 無	
18. 出張に対する補助金希 望額		円	

◎所属機関長の推薦状出張承諾書

1. 推薦の理由

2. 出張の承諾

上記申請者が貴財団の国際研究集会派遣研究者に採用された場合、申請期間の海外派遣を承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長職・氏名

職印

◎注意

本申請書は必ず所属機関長の推薦と承諾を得て、正1部、副2部、計3部提出して下さい。

財 団 記 入 欄	①選考日	② 採用・不採用	③補助金額 円
--------------	------	-------------	------------

海外研究派遣研究者募集要領

財団法人 吉田科学技術財団

科学技術に関する共同研究または研究推進のため、海外に出張する研究者に対し、選考委員会において選の上、航空運賃を助成します。

(1) 対象分野

化学部門。ただし、化学分野を広範囲に捉えます。(例：物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、生化学、材料化学など)

(2) 応募の資格

次の各項の資格を具備する者としてします。

- ①大学卒業者または、これと同等以上の学力を有する者。
- ②大学院学生である場合は、博士課程後期課程で博士論文を申請中の者。
- ③受入機関の承諾を得ている者。または、申請時交渉中で受け入れの承諾を得る見込みのある者。
- ④海外において、研究するのに十分な語学力を有する者。

(3) 出張期間

原則として満1ヵ年以内。

(4) 助成額

航空運賃については、実情を勘案して決定します。

(5) 報告の義務

帰国後、出張中における研究成果、生活環境、その他意見等に関する報告書の提出を求めます。

(6) 選考の基準

- ①海外で長期の研究活動を行う適性を有すると認められる者であること。
- ②特に将来発展性のある新しい研究分野（境界領域を含む）の開拓に役立つ研究であること。
- ③若手の研究者に重点をおき、原則35歳未満までとする。

(7) 応募の方法

所定の申請書に必要事項記入の上提出して下さい。その際所属の国公立大学、国公立研究機関等の責任者の推薦と出張承諾書の確認を得た上、往復文書等（コピーで可）を添付の上、正1部、副（副はコピーで可）2部、計3部を提出して下さい。

（申請用紙は、下記提出先にご連絡下さればお送りします。）

(8) 選考の方法

当財団の選考委員会で選考の上、決定します。

(9) 募集の締切日

申請書は、締切日必着にて提出して下さい。

No	締切日	出発日	選考結果の通知
第1回	4月30日	9月30日まで	6月上旬
第2回	7月31日	12月31日まで	9月上旬
第3回	10月31日	3月31日まで	12月上旬
第4回	1月31日	6月30日まで	3月上旬

(10) 申請書の提出先

〒102-0076 東京都千代田区五番町5-6 ビラカーサ五番町404

財団法人 吉田科学技術財団 TEL 03(3263)4916 FAX03(3263)5098

*個人情報の取り扱いについて

申請に係わる個人情報の取り扱いにつきましては、審査の為選考委員に開示するほかは、公表致しません。
なお採択決定分につきましては、財団年報で氏名及び所属を公表致します。 以上

整理番号

受付番号

海外研究派遣研究者申請書

平成 年 月 日

財団法人 吉田科学技術財団
理事長 吉田昌二 殿

申請者氏名 _____ 印 (男、 女)

(ローマ字) _____ (国籍 _____)

生年月日 年 月 日 (才)

所属機関部局名・職名 (学部・学科などなるべく詳しく 記入して下さい)	
所属機関所在地 (電話、ファックスには市外局番 を入れて下さい)	〒 _____ 電話 _____ ファックス _____
自宅住所 (電話、ファックスには市外局番 を入れて下さい)	〒 _____ 電話 _____ ファックス _____
最終学校名・卒業年月	
学位名・授与大学名・取得年月	
現在の研究分野 (なるべく具体的に)	
取得資格 (例、TOEIC)	

下記研究機関において研究を行うため、貴財団の海外研究派遣研究者に採用されたいので申請します。

1. 研究機関	名称 所在地
2. 共同研究者又は 研究指導者 (該当分に○印)	氏名 職名 専攻

3. 相手側の受入通知	有(主な往復文書写添付)		無		
4. 相手側からの経費 援助の有無	有(金額)	<input type="checkbox"/> 航空費 <input type="checkbox"/> 研究費 <input type="checkbox"/> 滞在費	無		
5. 出張に対する希望額	航空費		円		
6. 出張の期間	日間	自	年	月	日
		至	年	月	日
7. 本海外研究の目的及び必要性(特に当該機関で行わなければならない理由)					
8. 今回の渡航が必要となった経緯を含めての研究歴について (現在までの主な発表論文、受賞等についても記入して下さい。代表的な原著論文1篇の別刷り1部を添付して下さい。)					
(注：過去に本研究に関し国際共同研究(留学を含む)の経験があれば記入して下さい。)					

9. 受入研究機関における研究計画(具体的に記入して下さい。)

10. 本海外研究について他
機関への申請状況

11. 当財団への過去5年間
の申請状況

12. 最近5年間の渡航歴(出張先、目的、期間等)について。

◎所属機関長の推薦書・出張承諾書

1. 推薦の理由

2. 出張の承諾

上記申請者が貴財団の海外研究派遣研究者に採用された場合、申請期間の海外出張を承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長職・氏名

職印

◎注意

本申請書は必ず所属機関長の推薦と承諾を得て、正1部、副2部、計3部提出して下さい。

財 団 記 入 欄	①選考日	② 採用・不採用	③補助金額 円
--------------	------	-------------	------------